



## 2020年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年8月5日

上場会社名 株式会社イルグルム 上場取引所 東  
 コード番号 3690 URL <https://www.yrglm.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 岩田 進  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長 (氏名) 赤澤 洋樹 TEL 06(4795)7500  
 四半期報告書提出予定日 2020年8月6日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年9月期第3四半期の連結業績（2019年10月1日～2020年6月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年9月期第3四半期	1,920	17.3	161	382.8	155	443.6	96	—
2019年9月期第3四半期	1,637	23.4	33	—	28	—	△47	—

(注) 包括利益 2020年9月期第3四半期 95百万円 (—%) 2019年9月期第3四半期 △49百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年9月期第3四半期	15.26	15.24
2019年9月期第3四半期	△7.45	—

(注) 2019年9月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため、記載しておりません。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年9月期第3四半期	2,594	1,188	45.8
2019年9月期	2,064	1,061	51.4

(参考) 自己資本 2020年9月期第3四半期 1,188百万円 2019年9月期 1,061百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2020年9月期	—	0.00	—		
2020年9月期（予想）				3.80	3.80

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

2. 配当予想の修正については、本日（2020年8月5日）公表いたしました「配当方針の変更及び配当予想の修正（復配）に関するお知らせ」をご覧ください。

### 3. 2020年9月期の連結業績予想（2019年10月1日～2020年9月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,700	22.5	200	135.5	190	140.4	130	—	20.62

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年9月期3Q	6,372,415株	2019年9月期	6,372,415株
② 期末自己株式数	2020年9月期3Q	64,404株	2019年9月期	81,423株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年9月期3Q	6,302,258株	2019年9月期3Q	6,321,611株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当社グループが事業を展開している国内のインターネット広告市場につきましては、アドテクノロジーの進化を背景にした運用型広告がインターネット広告市場全体を牽引、2019年のインターネット広告費は前年比119.7%の2.1兆円（株式会社電通「2019年日本の広告費」）と6年連続で二桁成長し、総広告費に占める媒体構成比も前年から3.4ポイント増の30.3%となり、広告市場のインターネットシフトのトレンドが続いております。

一方、当社グループのもう一つの対面市場であるEC市場につきましても、2019年国内BtoC-EC（消費者向け電子商取引）市場規模は前年比107.7%の19.4兆円に拡大しております。また、全ての商取引に対する電子商取引の割合であるEC化率も、BtoC-ECで6.8%（前年比0.5ポイント増）、BtoB-ECで31.7%（前年比1.5ポイント増）と増加傾向にあり（いずれも経済産業省「令和元年度内外一体の経済成長戦略構築にかかる国際経済調査事業（電子商取引に関する市場調査）報告書」）、国内のEC市場規模拡大は継続しております。

このような良好な事業環境の下、当社グループは、データとテクノロジーによって世界中の企業によるマーケティング活動を支援し、売り手と買い手の幸せをつくる企業を目指して事業展開を行っており、当第3四半期連結累計期間における売上高は1,920,579千円（前年同期比17.3%増）、営業利益は161,374千円（前年同期比382.8%増）、経常利益は155,323千円（前年同期比443.6%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は96,198千円（前年同期は47,124千円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

セグメント別の経営成績は以下のとおりとなりました。

#### ① マーケティングプラットフォーム事業

当事業は、デジタルマーケティング領域において、マーケティング効果測定プラットフォーム「AD EBiS」や分析レポート自動作成サービス「アドレポ」等を提供する事業であります。「AD EBiS」は広告効果測定システムを基盤としたマーケティング統合環境を提供するサブスクリプション型のサービスであり、広告効果測定市場において5年連続シェアNo.1（株式会社アイ・ティ・アール「ITR MarketView：メール/Webマーケティング市場2020」広告効果測定市場：ベンダー別売上金額シェア（2015～2019年度予測））を獲得しております。

当第3四半期連結累計期間においては、昨今のプライバシー保護のニーズにも配慮しながら精度の高い広告効果測定が可能な新しい計測方法「CNAMEトラッキング」のサービス提供を開始いたしました。また、株式会社セールスフォース・ドットコムが提供するSalesforce上にマーケティングデータを取り込むアプリケーション「AD EBiSコネクタ」のアップデートを行いました。これら新機能は、マーケティング効果測定プラットフォームとして、ユーザーのプライバシーに配慮したデータの取得、複雑に相関する広告データやサイト来訪者データの集約、誰もがわかるレポート等を実現するものであり、企業のマーケティング活動改善に寄与するものであります。

また、2020年1月1日付で株式会社オプトより広告効果測定ツール「ADPLAN」事業を譲り受け、当社事業としてサービスを開始しております。今後は「ADPLAN」のサービスを順次「AD EBiS」に移行していくことで、「AD EBiS」の広告効果測定市場のリーディングカンパニーとしての地位を確固たるものとし、引き続きデジタルマーケティングの進化を加速させていきます。

この結果、売上高は1,717,000千円（前年同期比18.2%増）、セグメント利益は118,572千円（前年同期比882.3%増）となりました。

#### ② 商流プラットフォーム事業

当事業は、EC構築のためのオープンプラットフォーム「EC-CUBE」を提供する事業であります。「EC-CUBE」はフリーミアムモデルのオープンソース・パッケージとして提供しており、EC事業者のインフラ整備や売上向上に貢献する一方、「EC-CUBE」と連携する各種サービス（決済代行等）の提供事業者からマージン収入を得るというエコシステムを構築しております。

当第3四半期連結累計期間においては、一部提携事業者との契約更新の遅れにより第2四半期において計上が遅れていた売上高を一括計上したことや、コロナ禍においてEC売上が好調に推移したことによるマージン収入増があり、売上は好調に推移いたしました。

この結果、売上高は203,579千円（前年同期比10.2%増）、セグメント利益は42,802千円（前年同期比100.4%増）となりました。

（2）財政状態に関する説明

（資産）

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比べ530,267千円増加し、2,594,611千円となりました。主な要因は、「ADPLAN」事業取得によりおのれんが224,113千円増加したことや、現金及び預金が185,355千円増加したこと等によるものであります。

（負債）

当第3四半期連結会計期間末の負債については、前連結会計年度末と比べ403,005千円増加し、1,406,204千円となりました。主な要因は、新規借入により1年内返済予定の長期借入金が101,003千円、長期借入金が466,312千円それぞれ増加したこと等によるものであります。

（純資産）

当第3四半期連結会計期間末の純資産については、前連結会計年度末と比べ127,262千円増加し、1,188,407千円となりました。これは、主に親会社株主に帰属する四半期純利益96,198千円及び自己株式の処分27,762千円によるものであります。この結果、自己資本比率は45.8%（前連結会計年度末は51.4%）となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

マーケティングプラットフォーム事業においては、新型コロナウイルス感染拡大の影響として、一部顧客で広告出稿の見直しに伴う当社サービス利用解約・休止等が発生している一方で、EC事業者等の非対面ビジネスにおける需要は堅調であり、全体としては横ばいで推移しております。

また、商流プラットフォーム事業においては、巣ごもり消費拡大に伴うEC事業者の活況によりマージン増加傾向がみられます。

以上のことから、連結業績予想については、2020年2月7日に発表いたしました通期連結業績予想の前提となる計画に大きな変動は生じていないことから、当該業績予想の修正はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	773,642	958,998
売掛金	271,133	328,035
前払費用	78,625	110,579
その他	19,084	13,922
貸倒引当金	△540	△870
流動資産合計	1,141,945	1,410,665
固定資産		
有形固定資産		
建物	92,663	92,663
減価償却累計額	△68,152	△74,827
建物（純額）	24,511	17,836
工具、器具及び備品	218,706	225,513
減価償却累計額	△164,094	△184,524
工具、器具及び備品（純額）	54,612	40,989
有形固定資産合計	79,123	58,825
無形固定資産		
のれん	109,240	333,354
ソフトウェア	386,540	459,618
ソフトウェア仮勘定	86,716	25,058
その他	7,735	15,762
無形固定資産合計	590,233	833,793
投資その他の資産		
投資有価証券	39,124	39,603
長期前払費用	24,152	33,049
繰延税金資産	93,873	115,731
差入保証金	95,333	102,232
その他	2,184	2,212
貸倒引当金	△1,625	△1,502
投資その他の資産合計	253,041	291,327
固定資産合計	922,398	1,183,946
資産合計	2,064,344	2,594,611

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	7,770	5,772
短期借入金	400,000	200,000
1年内返済予定の長期借入金	199,852	300,855
未払金	134,294	147,385
未払法人税等	22,975	24,600
預り金	33,542	45,453
賞与引当金	18,602	26,755
その他	5,043	8,716
流動負債合計	822,079	759,539
固定負債		
長期借入金	142,001	608,313
賞与引当金	1,718	952
資産除去債務	37,400	37,400
固定負債合計	181,119	646,665
負債合計	1,003,199	1,406,204
純資産の部		
株主資本		
資本金	318,065	318,065
資本剰余金	308,043	312,401
利益剰余金	536,879	633,077
自己株式	△100,071	△72,309
株主資本合計	1,062,916	1,191,235
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△1,772	△2,828
その他の包括利益累計額合計	△1,772	△2,828
純資産合計	1,061,144	1,188,407
負債純資産合計	2,064,344	2,594,611

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年10月1日 至 2019年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年6月30日)
売上高	1,637,889	1,920,579
売上原価	498,981	605,911
売上総利益	1,138,908	1,314,668
販売費及び一般管理費	1,105,482	1,153,294
営業利益	33,425	161,374
営業外収益		
受取利息及び配当金	383	1,210
投資有価証券評価益	688	984
持分法による投資利益	3,015	—
その他	1,630	477
営業外収益合計	5,717	2,671
営業外費用		
支払利息	2,210	3,850
為替差損	549	793
長期前払費用償却	7,409	3,531
持分法による投資損失	—	504
その他	399	42
営業外費用合計	10,568	8,722
経常利益	28,574	155,323
特別損失		
訴訟関連損失	60,000	—
固定資産除却損	11,492	—
特別損失合計	71,492	—
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△42,918	155,323
法人税、住民税及び事業税	13,412	28,004
法人税等調整額	△9,205	31,121
法人税等合計	4,206	59,125
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△47,124	96,198
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△47,124	96,198



(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年10月1日 至 2019年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△47,124	96,198
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△2,215	△1,056
その他の包括利益合計	△2,215	△1,056
四半期包括利益	△49,340	95,142
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△49,340	95,142
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

譲渡制限付株式報酬としての自己株式の処分

2020年1月17日開催の取締役会決議に基づき、譲渡制限付株式報酬として2020年2月17日を期日とする自己株式の処分(22,700株)を行いました。この結果、当第3四半期連結累計期間において資本剰余金が4,358千円増加し、自己株式が27,762千円減少しております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自2018年10月1日至2019年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	マーケティング プラットフォーム フォーム	商流プラットフォーム フォーム	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,453,204	184,684	1,637,889	—	1,637,889
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,453,204	184,684	1,637,889	—	1,637,889
セグメント利益	12,070	21,355	33,425	—	33,425

(注) セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「マーケティングプラットフォーム事業」セグメントにおいて、2018年10月1日付で株式会社EVERRISEよりアドレボ事業を吸収分割の方法により承継いたしました。当該事象によるのれんの増加額は、当第3四半期連結累計期間においては113,142千円であります。

当第3四半期連結累計期間(自2019年10月1日至2020年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	マーケティング プラットフォーム フォーム	商流プラットフォーム フォーム	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,717,000	203,579	1,920,579	—	1,920,579
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,717,000	203,579	1,920,579	—	1,920,579
セグメント利益	118,572	42,802	161,374	—	161,374

(注) セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「マーケティングプラットフォーム事業」セグメントにおいて、2020年1月1日付で株式会社オプトよりADPLAN事業を譲受いたしました。当該事象によるのれんの増加額は、当第3四半期連結累計期間においては235,818千円であります。